

医用情報工学科

アドミッションポリシー

■医用情報工学科が求める学生像

医用情報工学科は、医学・医療と情報科学・情報工学を学び、これらを基礎とする新しい学問「医療情報工学」を身につけ、保健・医療・福祉分野の情報処理を実施できる能力をもった人材を育成する学科です。

具体的には、保健・医療・福祉の専門職の一員として、医療の内容や特質を知り、コンピュータ等を使い、電子カルテ等の開発や患者さまの診療データ・地域住民の健康データを取りまとめるなど、医療分野の知識や情報を最適な情報処理技術を駆使して処理し、有効に活用できる基礎的な知識・技術を身につけた人です。

このような考え方から本学科の学生さんには、次のような資質が望まれます。

■具体的な人物像

- ・保健・医療・福祉の事柄に関心が高く、この分野の専門職の一員として活躍したい人
- ・科学的な探求心を持ち、保健・医療・福祉分野の仕事の内容や特質、さらに情報科学・情報工学の技術等を意欲的に学ぶ人
- ・決断力・実行力を持って実務的な医療分野の情報処理の仕事をしたい人
- ・一般的社会常識を有し、人々の考え方をよく聴き理解し、主体的、論理的、積極的に行動できる人

カリキュラムポリシー

■医用工学部のカリキュラムポリシー

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、医用工学部に臨床工学科と医用情報工学科を設置し、医学と工学分野の最先端科学技術を積極的に医療に活用できる学際的な教育・研究をとおして、高度な専門知識と技術及び医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

■医用情報工学科のカリキュラムポリシー

1. 基本的な人間力を備えた人材を育成する。
2. 基礎医学の知識を備えた人材を育成する。

3. 病院の業務知識など保健・医療・福祉分野で働く場合に必要となる実践的知識を備えた人材を育成する。
4. 病院の業務知識など保健・福祉分野も含めた幅広い医療の知識を備えた人材を育成する。
5. 保健・医療・福祉の分野で医療情報を担う人材を育成する。

ディプロマポリシー

■医用工学部のディプロマポリシー

臨床工学または医用情報工学の専門領域に加え医学・医療の幅広い知識と技術を修得し、高い教養と倫理観を身につけると共に、専門職業人としての強い責任感、指導力、意思疎通能力を磨き、探究心・研究心を高め、高度先進医療、地域医療に対応することができる。また幅広い知識を背景に、常に医療の最新情報を収集・実践できる能力を高めることができる。

■医用情報工学科のディプロマポリシー

1. 一般的社会常識を有し、人々の考え方をよく聴き理解し、主体的・論理的・積極的に行動できる能力を身につけている。
2. 医療機関等で働く場合に、実際に必要な医学に関する基礎的な知識を身につけている。
3. 医療機関等で働く場合に、医事業務、カルテ管理、診療データの統計分析など、診療情報管理に関する基礎的な知識を身につけている。
4. 情報科学・情報工学に関する基礎的な知識、および情報処理技術に関する基本的な技能を身につけている。
5. 医療分野の知識や情報を最適な情報処理技術を駆使して処理し、有効に活用できる基礎的な知識・技術を身につけている。